



**【保健医療学部 教育目標】**

- 人間の生命に対する深い愛情と畏敬の念を基盤として、高い倫理観と豊かな人間性を涵養すること。
- 保健医療に関する国際水準の知識と技術の修得を基本とし、未知の課題を自ら解決する意欲と探求心をもつとともに、自らの能力の限界を知り、生涯にわたり自己の資質の向上に努めること。
- 協調性に富んだ社会人として様々な職種の人々と協力し、医療の安全につながる留意するとともに、社会的視点に立って地域の保健医療に積極的に関わることができること。

**【理学療法学科ディプロマ・ポリシー】**

- 高い倫理観／豊かな人間性
  - ①幅広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につける。
  - ②医療における理学療法の役割、とくにその倫理的側面を理解し行動できる。
  - ③全人的医療、患者さん中心の医療を原点に、患者さんを思いやり、病める人の視点で考える態度をもち、個性を重視した理学療法を行うことができる。
- 国際水準の知識と技術
  - ④多様な臨床現場で実践可能な基本的な理学療法技術を身につける。
- 問題解決能力と探究心
  - ⑤患者さんの身体的、心理的問題を解決するために、医学的知識を活用し、科学的根拠をもった適切な判断ができる。
  - ⑥理学療法の実践の中から理学療法研究の課題を発見し、それを発展させることができる。
- 内省（自らの限界を知る）／生涯学習
  - ⑦常に自らの能力を点検・評価し、生涯学びつづける姿勢を身につける。
- 協調性と協力／医療安全／地域医療への貢献
  - ⑨チーム医療の中で調整・連携の役割をはたすための適切なコミュニケーション能力を身につける。
  - ⑩医療安全管理の重要性を理解し、状況に応じた適切な行動をとることができる。
  - ⑪保健・福祉・医療チームの一員として地域医療に積極的に関わることができる。